



心配していたことですが、新型コロナウイルス感染症の流行は収束に向かうどころか、感染者数が増加の一途をたどっています。「まん延防止等重点措置」が4月20日から愛知県にも適用され、飲食店の時短営業要請や、イベントの入場者数の制限など、私たちの生活が再び不自由になり始めています。住民の一人一人が、感染予防の意識をより強く持つことが大切だと考えますが、行動が伴わない人が減らないという残念な現状です。だからと言って、これまでの努力を無にするわけにはいきません。

太田稔彦豊田市長が、4月17日(土)付けで、市民に向かってメッセージを発しています。原文のままお伝えします。(下線は、校長が追記しました)



正門ロータリーに見事に咲くツツジの花
(4月19日撮影)

市民の皆様へのメッセージ ～愛知県へのまん延防止等重点措置の適用を受けて～

- 4月に入り、愛知県内の新規陽性患者は増加傾向に転じ、変異株の感染も拡大しつつあります。
- 豊田市においても発生ペースが急増し、比較的規模の大きなクラスターも2件発生しています。
- クラスターについては、濃厚接触者の特定はできており、検査や健康観察、感染予防策の指導等をしっかり行っています。
- 豊田市の最近の新規陽性患者の内訳をみると、若者や現役世代の占める割合が増加していることが特徴として挙げられます。
- 変異株については、愛知県内でも多数確認され、豊田市でも発生が確認されています。
- 愛知県は「まん延防止等重点措置」(4月20日～5月11日)の適用を受け、県民・事業者に対して以下をはじめとした要請を行っています。
 - ・ 不要不急の行動の自粛
 - ・ 県をまたぐ不要不急の移動自粛
 - ・ 飲食店等に対する営業時間短縮
 - ・ カラオケ設備の利用自粛
- 4月20日を皮切りに実施するワクチン接種については、豊田加茂医師会とも連携して準備を進めているところです。
- 市民の皆様におかれましては、改めて「感染しない・させない」の考えで日常生活を送っていただくようお願いいたします。特に、マスクの着用、手洗い・手指の消毒・「3密」の回避、この3つの基本的な取組については今後も徹底してください。

学校より改めてお願いします

～学校での感染を食い止めるために～

お子様本人はもちろん、同居のご家族に以下のようなことがあった場合、学校にご連絡ください。

- 1 保健所や医療機関などが実施する PCR 検査等、新型コロナ感染を確認する検査対象となった場合
 - 2 保健所や医療機関などから、新型コロナ感染の疑いがあるとして 自宅待機、健康観察の要請を受けた場合
- ※ 上記の1・2の場合、生徒は登校を控えるようにしてください。
- ※ 上記以外の場合でも、同居するご家族に、発熱が続き、感染の心配がある方が見える場合、生徒の登校を控えるようにご協力ください。その判断は、各ご家庭で行ってください。